

令和元年度病害虫発生予察指導情報

(果樹類・クサギカメムシ)

令和元年度12月6日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

- (1) ベニヤ板トラップ調査によると、クサギカメムシの越冬成虫数は、トラップあたり7.2頭と前年(14.1頭)より少なかった。

表1 ベニヤ板トラップ調査*によるクサギカメムシの越冬量

調査地点	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
鳥取市河原町	0	9.5	19.5	25.0	29.0	24.5
鳥取市佐治町	0.5	0	0	9.5	6.5	5.5
八頭町**	0	0	6.0	3.5	9.0	8.5
倉吉市関金町**	0	0	2.0	1.0	2.5	0.5
倉吉市				9.0	54.0	10.5
湯梨浜町	1.0	2.5	6.5	3.0	7.5	11.0
北栄町	1.0	0	2.0	0.5	1.0	0.5
琴浦町**	0	0	10.0	5.0	17.0	8.0
大山町	0.5	1.5	0.5	7.0	4.0	0.5
南部町	0.5	1.0	5.0	3.0	10.5	2.0
平均	0.6	2.4	5.6	6.7	14.1	7.2

* 表中の数字は、トラップあたりの成虫数を示す。設置数は2トラップ/地点

** 調査地点変更のため平均値の計算から除外（セル内灰色）。

調査方法：9月下旬～10月上旬にベニヤ板トラップ（4層）を各地点に設置。地点あたり2トラップ、ベニヤ板間の隙間は5mm。
12月にトラップを回収後、トラップあたりのクサギカメムシ越冬個体数を調査。

変更・改良点

- ① 平成25年度、調査方法の変更、新：ベニヤ板トラップ（隙間サイズ3mm）、旧：簡易小屋トラップ
- ② 平成26年度、隙間サイズ5mm及び6mmを追加
- ③ 平成27年度、隙間サイズ3mmは捕獲数が少なく、5mm及び6mmのデータを記載。
- ④ 平成28年度、隙間サイズ5mmに統一。八頭町、倉吉市、琴浦町は調査地点を変更。
- ⑤ 平成29年度、調査地点に倉吉市を追加。

2. 防除上注意すべき事項

- (1) クサギカメムシは、果樹園内の作業小屋などで越冬しているため、休眠期の防除対策として、3月までに小屋を清掃し、越冬成虫を必ず捕殺しておく。
- (2) 例年発生が多い園では、4月以降、定期的にはほ場を見回るなどして、春先の発生程度の把握に努める。